

# 十二月定例議会

## 固定資産評価審査委員会委員の 選任など十五議案を可決



十二月定例町議会は、十六日から会期八日間にわたって開かれ、固定資産評価審査委員会委員の選任など十五議案が上程、いずれも原案どおり可決、成立し、二十三日全日程を終了しました。

おもな議案の要旨は次のとおりです。

- 町固定資産評価審査委員会委員の選任
  - 黒崎町大字木場一八七番地岩野信義（T・八・二・四生）が、任期満了のため議会の同意を求めらるゝので、同氏を再任。
- 町長選挙立会演説会条例の一部改正
  - 条例中、文章表現に適切さを欠く部分を、次のように改正

日の中から「選挙の期日の日から」を「選挙の期日の告示の日から」に改める。

- 町職員給与に関する条例の一部改正
  - 給与のほか扶養手当など諸手当が引き上げ。
  - 町職員の寒冷地手当の支給に関する条例の一部改正
    - 寒冷地手当が引き上げ。
- 町児童遊園設置条例の一部改正
  - 条例に寺地児童広場を加えるなど。
- 町道路線の認定
  - 柳作11号線など五路線を町道に認定。
  - 町道路線の変更認定
    - 柳作7号線など二路線の町道を延長変更。
- 一般会計補正予算（第六回）
  - 土木費——受託事業費（町道補修）など八千円を含み、歳入歳出ともに一億七千五百三十三万二千円を増額し、総額三十九億九千二百六十三万円に。

- 国民健康保険特別会計補正予算（第二回）
  - 歳入歳出ともに一千三百六十四万二千円を増額し、総額五億七千四百四十九万円に。
  - 水道事業会計補正予算（第二回）
    - ガス事業会計補正予算（第二回）
  - 五十四年度一般会計歳入歳出決算認定
  - 五十四年度国民健康保険特別会計決算認定
  - 五十四年度農村公園設置事業特別会計決算認定
  - 大野都市下水路（大野一号幹線）函渠施設第二期工事請負契約の締結
  - 三千五十万円で柳福田組が落札。
- 請願・陳情
  - 立仏小学校北側農道の町道認定並びに改良舗装に関する請願。採択
  - 町道北場小新線の舗装に関する請願。（九月議会で継続審査であったもの）採択



### にせ税理士にご注意

所得税や贈与税の申告時期になりますと、税金の計算など申告手続を税理士に依頼する方が多くなりますが、その際には、正規の税理士であるかどうかをよく確かめてください。

税理士でない人が、他人の申告書を作成することなどはできないことになっています。

ところが、申告時期になると税務書類の作成などを依頼する人が多いことに便乗し、税理士資格のない人が申告書などを作成することがあります。

このような「にせ税理士」は、法律に違反するだけでなく、納税者にも迷惑をかけることとなりますので、税務署でも厳しい態度で排除に努めています。

十分にご注意ください。

心配ごと相談の利用を、毎週土曜午後1時から役場二階

### 西欧農業 訪ねある記

## FAO

### （国際連合農業食料機構）を訪ねて

イタリヤのローマ市にあるFAO（国際連合農業食料機構）を訪問し、世界の食糧事情等について説明を聞く。

各国とも増産に努力しているが低開発国は人口の伸びに追いつけない実状で、低開発国自体、自給のための努力が必要であると強調し、天災、飢饉に対する措置として食糧の備蓄に対する助言をするが、守らない国があるので、FAOにおいて法的措置をとる方針で望むことを話された。過去二年と今年の生産量をみてみても伸びは少なく、逆に価格が一六一・七%上昇しインフレ傾向となっている。今後の予測として二〇〇〇年までの見直しでは、人口の伸びと需用の伸びを計算すると、毎年三%の生産増加が必要で、生産の伸びをいかにするかは、低開発国にその要素が残されているので、可能な技術援助を、また、開発可能な国には開発の促進をする必要がある。特にFAOが低開発国に助言することは、外貨を必要としない農業を指導する、例えば、機

械化がむづかしいので人力畜力の利用、更に有機肥料の利用も併せて投入する投資として、土地開発、かんがい施設に対する農業構造改善が先決であると説明されたが、

組む姿勢であると述べ説明を終えた。

- 一、加盟国の備蓄政策
- 二、備蓄に対する管理、緊急時の援助
- 三、特に貧しい国に対する特別援助
- 四、低開発国に対する外貨援助
- 五、開発途上国における食糧の自給

開発途上国に期待する見とおしは暗いようであった。

全般的な見とおしとして世界の食糧事情は今までになく重要になってくる。問題の第一は二〇〇〇年までは大幅な人口増加が見込まれ、二〇〇〇年を過ぎるころから横ばいになると見込んでいる。

先進国グループは食糧の確保は問題ないが、特に、低開発国が極端な人口増加を期すところから、食糧不足を招くのは必至で、このためにも余剰農産物のある国は、広く門戸を開く態勢が必要とされている。現在でも地球上に約四億人の人達が飢饉線上にあることを、考えなければならぬ。以上の観点からFAOは次の五点を重点項目として取



きびしい食料事情をかかえるFAO本部

### 言葉遣いのいらいら

#### お悔やみ 言葉数少なく真心こめて

お通夜や告別式で遺族に会ってお悔やみを述べる際は、言葉数は少なくても真心をこめて、表情や態度で十分気持ちを伝えるようにしたいものです。先方はとりこんでいるのですから、あまり長々しいあいさつはひかえた方がよいでしょう。

遺族と初対面の場合は「日ごろ大変お世話になっておりました〇〇でございます」というような自己紹介をしてからお悔やみを述べます。「このたびはまことに思いがけないことで……」(慰労のことと存じます)。「病氣とは何っておりましたが、本当に残念なことでございます」(「病氣とは何っておりました本当に残念なことでございます」)

「いかがかと案じながらも、ろくに御見舞いにも伺いませずまことに失礼いたしました」。「この前お見舞い上がったときはお元気な様子でしたのに、こんな急にお亡くなりになろうとは思っておりませんでした。さぞお力落としでいらつしやいませう」。「突然のご災難で、何とも申し上げようございませぬ。お察し申し上げます」このように状況に応じた言葉で弔意を表します。最後の例は事故に遭って亡くなったような場合です。また「何かお手伝いのできることはありませんか」といふお申し付けください」といふことも、お通夜の際にはふさわしいものです。

「不用の洋服や布をゆずって！」

今年「国際障害者年」です。町内に在住の身体障害者の方が、布などを張りつけて絵のようなものを作る「パッチ・ワーク」を始め、

「不用の洋服や布がありましたら、次の所へご連絡を！」

黒崎町善久九六一番地 渡辺 育子 (7)2654